

「かつちゃ」達が活躍できるよう

県議会総務企画常任委員会が「駅ナカ」視察

県議会総務企画常任委員会の三橋一三委員長ら委員8人が、県内調査で駅ナカ「にぎわい」空間を視察しました。

委員たちは水産観光課職員から駅ナカ事業の目的や実績などの説明を受け、後半は金多豆蔵の人形劇を観賞しました。

意見交換では、「もっとアピールするため、駅ナカでがんばる女性たちに、八戸などにあるようなお母さんたちの呼び名を考えてはどうか。また、女性同士の交流を促してみてもどうか。売り上げや集客力をあげるため、みんなで知恵を出していきましょう」という意見が出され、県でも応援したいという姿勢をみせていました。



立ち直りを支える地域を

社会を明るくする運動

今年で62回目を迎えた社会を明るくする運動は、犯罪や非行防止などを目的に行われる全国的な運動です。

7月1日(月)に保護司と更生保護女性会25人が参加し、町内パレードに先立って保護司会の2人が中央推進委員長の法務大臣と県推進委員長の県知事のメッセージを読み上げて町長に伝達して協力を求めました。

町長からは「最近、報道でもあり多様な事件が起こっているが、皆さんの活躍で町民は平穏に過ごせている。今後とも協力をお願いしたい」と話しました。パレード一行は、このあと町内9施設を巡回し、この運動をPRしました。

これからの農業を考える

ピュア落成記念講演会

農産物加工施設・ピュアの落成記念講演会が6月28日(金)に中央公民館で開催され、町内外から約100人が参加しました。この日のテーマは「これからの農業を考える」。北海道大学名誉教授の太田原高昭氏を講師に迎え、1時間にわたり講演が行われました。

太田原氏は、民泊の受け入れや加工品の開発・販売などを例に挙げ、これらが農家の所得向上につながるだけでなく、生きがいにもなると説明。更に農業とも関係が深いTPPにも触れ、日本はこれからどうするべきかという話に参加者は聞き入っていました。

終了後には講師へ質問する時間が設けられ、「農家民泊についてもっと詳しく聞かせて欲しい。先生は農地集約についてどう考えているか」などの意見について議論が繰り広げられました。



2選手が全国大会へ出場へ

「中里誠心塾」選手が活躍

中里誠心塾所属の葛西大悟くん(武田小5年)と今楓香さん(薄市小6年)が日々の稽古の成果を發揮し、6月23日(日)に行われた全国小学生学年別柔道大会県予選でそれぞれ優勝し、広島市で開催される全国大会へ出場します。また、葛西くんは県の選抜メンバーに選ばれ、講道館で行われる日整全国少年柔道大会(団体戦)に青森県代表として出場します。

7月22日(日)に町長を訪問し、全国大会出場を報告しました。町長の激励に対して、県大会を2連覇した今さんは「予選は楽な試合がなく苦しかったが全国大会では上位に入れるように頑張りたい」、葛西くんは「優勝を目標に1試合ずつ勝ち進みたい」と意気込みを伝えました。



中里中が中体連で好成績

東北大会出場を報告

中体連東北大会出場を決めたソフトテニス部、陸上部の生徒15人と外崎校長、顧問の先生が7月17日(水)、報告のため役場を訪問しました。

県中体連夏季大会は7月13日～15日に開催され、ソフトテニス、陸上のほか野球などの競技でも東北大会出場権を獲得しました。ソフトテニス女子の部は1位2位を独占するという快挙を成し遂げました。

生徒達は「気持ちを引き締め、東北大会ではまず1勝を目指す」と次の試合への決意を見せていました。

中体連の東北大会は、宮城県を会場に行われます。また、野球部は、6月に行われた東日本少年野球大会県予選を勝ち抜き、水戸市で行われる本大会へ出場します。

■東北大会出場者(○数字は学年)

○陸上…岡駿岳③/大屋義浩③/佐々木大空③/宮越晃一②/小野海斗②/奈良響②/下山誉人②/越野彪雅①/神拓帆①

○ソフトテニス…田中大夢③/坂田拓陸③/岩田大地③/鈴木隆盛③/中村武蔵③/小山内敦士②/小山内龍翔②/小山内駿輔②/古川紗矢香③/葛西萌瑚③/木村真琳①/中村唯①

北日本ブロック大会での活躍誓う

卓球中里クラブが県予選突破

卓球中里クラブが6月22日に行われた全国ホープス北日本ブロック卓球大会県予選会男子団体戦を勝ち抜き、次のステップである北日本ホープス卓球大会(8月16日岩手県花巻市で開催)へと見事出場を決めました。

津軽地区小学生卓球選手権大会が行われた7月7日(日)に町体育センターで町長へ大会出場を報告。選手たち(横濱宗成くん、長谷川翔吾くん、黒川透夜くん、鈴木大生くん)は、予選はあきらめずにねぼって通過したので北日本大会でも同じねぼりで勝ち進みたい」と話していました。

またこの日行われた大会には、津軽地区の小学生約220人が参加し、日頃の練習成果を發揮しようと戦いに挑みました。選手たちは、スマッシュなどで得点が決まると「ヨッシャー」、失敗しても「ドンマイ」などと声を張り上げていました。



小泊での体験を自費出版

長坂さんが役場を訪問

17年前いかだで津軽海峡を渡ろうとした長坂良三さんが7月17日(木)、役場を訪問しました。

長坂さんは、縄文人は丸木舟ではなくいかだで津軽海峡を渡ったと唱え、縄文式のいかだを作成。住民の協力を得ながら、小泊から北海道松前町へ渡ろうと3度挑戦したが、悪天候や津軽海峡の海流に阻まれました。

今回、この体験記録を残したいという思いが強くなり、『縄文人になった男』(岩手復興書店)を自費出版し、お世話になった皆さんや町民に読んでいただきたいと図書館に2冊寄贈しました。長坂さんは「当時は小泊のみなさんに大変お世話になった。また本の売上げが震災復興の一助になれば。退職オヤジの活力になれば」と話していました。



下前児童公園の遊具の点検

下前母親クラブがボランティア

下前地区で活動する3つの母親クラブ(海の子、なかよし、なぎさ)が7月18日(木)、下前児童公園の遊具点検を行いました。すべり台、ブランコなどの遊具をそれぞれ動作確認などで点検した結果、異常は見つからなかったようです。同クラブは公園の草刈りも定期的に行っています。

参加したクラブ員は、「地域の子どもたちに気持ちよく公園を利用してもらいたい。安全な遊具で楽しんで欲しい」と話していました。

草刈りで奉仕

町管工事業協会がボランティア

町管工事業協会(会長・塚本壯恆)が7月18日(木)、町豊岡地区農業集落排水処理センター敷地に茂った雑草の刈り取りを行いました。

同センター回りには雑草が50センチ以上に生い茂り、協会メンバー10人がそれぞれ担当の場所に移動し、持ち寄った草刈り機で丁寧に刈り取っていました。



広告

五所川原第一高等学校 通信制課程

後期入学生募集

高校卒業資格を手に入れよう

- 今の学校になじめない・・・という方
- 体力的に毎日は無理・・・という方
- 一度辞めてしまった・・・という方

通信制なら、どうでしょう？

☆就学支援金(高校無償化)も適用されます。詳しくは下記まで、お問合せください。

出願期間

☆平成25年8月20日
～ 9月5日

出願書類の審査と面接結果
で合格を判定します。

入学から卒業まで

入学

スクーリング
(毎週金・土曜)

隔週のレポート
(プリント学習)

特別活動
(行事・LHR等)

単位認定

74
単位以上で卒業

1年次

2年次

3・4年次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町6-1
TEL 0173-26-6662 FAX 0173-26-6663

ホームページ <http://goichiko.jp/tsushin/>

メールアドレス goichi_tushin1@tenor.ocn.ne.jp

水・日/休校日